

政治をもっと、身近なものに

生活者ネットワークの 市議会通信



市民の声を、私たちが市政へ届けます



市議会議員

後藤ゆう子



市議会議員

かとう涼子

後藤ゆう子の 3月議会の代表質問から

◎公立小中学校の給食無償化が実現

給食は、単に空腹を満たすものではなく、成長期の子どもに必要な栄養をバランス良くとれる食事となっています。「子どもが食べる給食費ぐらい親が払うべき」との声も聞こえますが、昨今の物価高騰や、所得が上がらない状況で給食費が負担になる世帯も増えています。社会全体で子どもの育ちを支える視点は重要です。

一方で無償化することで、市が財政負担を抑えるために食材費を削り、給食の質が落ちるのではないかと心配する声もあります。議会でその点を質問しました。教育長から「食品購入安全基準に基づく食材の購入等、現在の仕組みを維持するとともに、有機野菜や国産小麦などの使用も念頭に、栄養バランスの取れた安全でおいしい給食を提供し、子どもたちの成長を支えていく」という答弁がありました。今後も給食の内容を注視していきます。

かとう涼子の 3月議会の関連質問から

◎ひきこもり支援が一步前進！ 実態調査と家族セミナーの開催へ

生きづらさを抱えたひきこもりの人は、市内に約2,500人と推計されています。ご家族や本人が何に悩み、どんな支援を必要としているのか、まずは市内の実態を把握するため、無作為抽出のアンケート調査を実施することになりました。

市の相談窓口を訪れるのは、本人よりもご家族が多いことから、同じ悩みを抱える家族同士が語り合える場の設置を要望してきました。今年度は、ひきこもり理解の学習会と家族同士の交流を目的とした「家族セミナー」を開催することのこと。ご家族の孤立感を解消する一助となるのではと期待しています。

「安心して参加できる場があれば、行ってみたい」「自分も社会の役に立ちたい」と思っている方たちのために、居場所づくりや社会参加の機会の創出に向けて、引き続き提案を進めていきます。



ゆう子&涼子の
控室放談

地方自治を揺るがす法改正に 自治体から怒りの声を上げよう！

涼子 ● 地方自治は「民主主義の学校」って、聞いたことある？
ゆう子 ● もちろんあるで。自分たちの地域のことを、自分たちで話し合い決めていく過程が、民主主義の実践でもあり、学びでもあるってことやね。
涼子 ● そうそう。だから市町村の自治ってすごく大事。市町村は地方自治の最前線だよ。

ゆう子 ● それやのに国は、地方自治法を改正して自治に介入しようとしてるんやで。国と地方は対等・協力的な関係なのに、ありえへん。

涼子 ● 「国民の安全に重大な影響を及ぼす事態が発生した時には、法律に規定がなくても、国は自治体に指示できる」って法改正のことだね。コロナ禍の教訓を踏まえたらっていうけど、まるでコロナ危機に便乗した中央集権化じゃん。腹立つわ。

ゆう子 ● コロナで自治体や保健所が大混乱したんは、国の判断ミスやコロナ変わる方針のせいやん？ 失政の責任を、地方になすりつけんとして欲しいわ。

涼子 ● 自治の現場を無視して国が指示権を発動すれば、かえって現場が混乱する恐れもあるよね。

ゆう子 ● それに「国民の安全に重大な影響を及ぼす事態」って、いつ、どんな事態のこと？ 時の政権に恣意的な運用をされるかとも思うと、恐怖でしかあらへん。

涼子 ● 「法に定めはないが、国の指示に従え」となれば、地方分権なんて一気に吹き飛ばしちゃう。自治体はもっと怒るべきだよ！

ゆう子 ● 憲法第92条「地方自治の基本原則」を揺るがす地方自治法改正に、断固抗議していいな！

もりびと
ドキュメント映画「杜人」の上
映会をコール田無で開催。監督
の前田せつ子さんと (1/21)